

2022（令和4）年度知床世界自然遺産地域エゾシカワーキンググループ

リモート会議・結果概要

1. 会議開催の目的

令和4年度第1回エゾシカWGの結果を受け、2022（R4）シカ年度における捕獲事業計画の見直しに向けた助言を得ることを目的として、Web会議を非公開にて開催。

2. 開催日時

2022（令和4）年9月16日

3. 出席委員

石川座長、伊吾田委員、宇野委員、梶委員、工藤委員、山中委員（御欠席：日浦委員、松田委員）

4. 結果概要

論点	結果
1. 捕獲目標数の設定について	
①知床岬：捕獲目標頭数は発見頭数の自然増加率相当分とし、メスは簡易シミュレーションで個体群が減少する数を設定しているが、その妥当性について。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲目標頭数を高めに設定して個体数を減少させる必要があるため、発見頭数に対する定率捕獲の考え方を採用することが妥当。</li> <li>・最新調査における雌発見頭数の50%を雌の捕獲目標頭数とする。</li> <li>・上記目標頭数を踏まえ、可能な限り捕獲を行う。</li> </ul> <p>&lt;参考&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新調査の雌発見頭数（R3年冬期：112頭）に基づくと、2022（R4）シカ年度の目標頭数は雌56頭以上と設定される。</li> </ul>
②ルサ相泊と幌別岩尾別：捕獲目標頭数は発見頭数の自然増加率相当分とし、メスは過去の実績から捕獲目標頭数の約3割として設定しているが、その妥当性について。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記設定で妥当。</li> <li>・ただし、岩尾別は増加傾向にあり要検討。</li> </ul>
2. 遺産地域シカ捕獲事業について	
①本会議の開催に当たり山中委員から提案のあった内容を踏まえ、3地域の事業優先順位をどのように考えるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知床岬が最優先（重要性がかなり高い最優先）</li> <li>・次いで幌別-岩尾別（予断を許さない現状あり）</li> <li>・ルサ-相泊は最低限の労力で実施。</li> </ul>
②生息密度の目標に近いルサ相泊と幌別岩尾別については、最低限の事業の実施とし、知床岬に集中することで良いか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記で異論なし。</li> </ul>
③各地区における事業の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知床岬：冬期ヘリ捕獲は当面見送り。4月～6月の捕獲効率が高い時期に適切な手法を選択し、狩猟圧を高める。</li> <li>・ルサ相泊：当面は現在の手法を継続。ただし、くくりわなの効率が悪く要検討。</li> <li>・幌別岩尾別：当面は現在の手法を継続。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・知床岬：冬期ヘリ捕獲を実施するのか否か。実施する場合の事業メニューは。</li> <li>・ルサ相泊：最低限実施すべき事業は何か。春にくくりワナを実施するのか。</li> <li>・幌別岩尾別：最低限実施すべき事業は何か。大型仕切り柵による囲い罠捕獲を継続するのか。</li> </ul>	

遺産地域における捕獲取組の今後の方向性について

地区名	委員からの指摘・助言（要旨）	今後の対応・方向性
知床岬	<p><b>【基本的な考え方】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 既存の手法に加え、相対的に低コストである新たな手法の導入や、複数の手法を捕獲時期等に応じて組み合わせる等、効果的かつ効率的な個体数調整を実施すること。</p> <p><b>【捕獲時期・対象範囲など】</b></p> <p><input type="checkbox"/> より広範囲の捕獲実施を検討すべき。特にこれまで捕獲圧が十分にかかっていなかった羅臼側での捕獲を積極的に進めるべき。</p> <p><input type="checkbox"/> 捕獲期間の延長を検討すべき。具体的には秋期9～10月にかけての捕獲の実施。11月は海況が荒れやすく、地元漁師も避けるため捕獲は見合わせる。</p> <p><input type="checkbox"/> エゾシカの警戒心抑制を図るうえで捕獲頻度の見直しを、捕獲効率の向上を図るうえで捕獲1回当たりの現地滞在日数の見直しをそれぞれ検討すべき。</p> <p><b>【捕獲手法】</b></p> <p><input type="checkbox"/> エゾシカの警戒心抑制を図るうえで、忍び猟（ストーキング）とハイシートの手法組み合わせは海外でも事例あり。</p> <p><input type="checkbox"/> 囲いわなによる大量捕獲</p> <p><input type="checkbox"/> ドローンの利活用</p>	<p>▶ 第4期エゾシカ管理計画に反映。今年度より新たに取組中。</p> <p>▶ 今年度より新たに取組中。来年度、羅臼側に拠点となるハイシートの追加設置も検討中。</p> <p>▶ 来年度、事前調査を含めて試行・検討を予定。</p> <p>▶ 来年度の捕獲取組にそれぞれ反映。</p> <p>▶ 今年度より新たに取組中。</p> <p>▶ 今年度よりエゾシカの出没状況など、捕獲適地・適期の選出等に向けて現地情報収集中。</p> <p>▶ 今年度積雪期に幌別-岩尾別地区において利活用のあり方も含めて試行・検討を予定。</p>

地区名	委員からの指摘・助言（要旨）	今後の対応・方向性
知床岬	<p>□エゾシカを生体捕獲後、標識・GPS などを取り付け<u>囀シカ</u>に使う手法の導入。海外や岩尾別地区でも事例あり。</p> <p>□<u>船上からの狙撃</u></p> <p>□<u>日没時銃猟（夜間銃猟）</u>の導入</p> <p>□<u>犬による追い出し</u></p> <p>□従来行われてきた冬期の<u>へり移動による捕獲</u>は選択肢として残しておくべき。</p>	<p>▶過去の実施結果等も踏まえて、具体的な生体捕獲の方法や場所等、実現可能性や効果・効率面について検討（<u>2024(R6)以降を予定</u>）</p> <p>▶ルサ-相泊地区において2016年に実施された結果等も踏まえて実現可能性や効果・効率面について検討（<u>2024(R6)以降を予定</u>）</p> <p>▶今年度積雪期に予定している検証結果等も踏まえて、特に安全面での実現可能性や効果・効率面について検討（<u>2024(R6)以降を予定</u>）</p> <p>▶現時点では実施に関する課題が多く、引き続き検討を要する。</p> <p>▶<u>毎年度開催される第1回WG</u>において、直近の航空カウント調査結果や捕獲状況等も踏まえて、必要に応じて実施判断。</p>
幌別－岩尾別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面は今のやり方を継続し、今後も低密度が維持できるよう努めること。</li> <li>・隣接地からの移動が原因と考えられる増加傾向も確認されていることから、捕獲場所の見直しや捕獲手法の改善も図るべき。</li> </ul> <p>例として、<u>道路の一時通行止めによる流し猟式SS</u>の実施など。</p>	<p>▶指摘・助言のほか、知床岬地区との優先順位等も踏まえて継続した捕獲取組を実施</p> <p>▶現時点では実施に関する課題が多く、引き続き検討を要する。</p>
ルサー相泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね目標に達していることから、最低限の労力で現状維持できる効率的な方法を考えること。</li> <li>・必要な措置をとるための事前準備、地域への説明や相談などは進めるべき。</li> </ul>	<p>▶指摘・助言のほか、知床岬地区との優先順位等も踏まえて継続した捕獲取組を実施</p>

【参考】令和4年度 知床岬地区エゾシカ捕獲状況

表1 エゾシカ視認頭数・出会回数※1（エリア別、延べ頭数※2）

月	捕獲 日数	エリアA			B			C			D	合計
		草原	林縁	森林	草原	林縁	森林	草原	林縁	森林	森林	
5月	2日		2(2)		25(6)	11(2)		28(2)		2(2)		68
6月	10日	1(1)		7(4)	26(12)	1(1)	12(5)	42(13)	17(3)	16(6)	1(1)	123
7月	9日			11(8)	7(4)		1(1)	8(4)		2(2)	11(5)	40
8月	2日		1(1)								2(1)	3
小計	23日	1	3	18	58	12	13	78	17	20	14	234
合計		22			83			115			14	

※1 ( ) 内数字はエゾシカとの出会い回数。 ※2 視認頭数の性齢内訳については今回未測。

表2 エゾシカ捕獲頭数（エリア別）

月	捕獲 日数	エリアA			B			C			D	合計※
		草原	林縁	森林	草原	林縁	森林	草原	林縁	森林	森林	
5月	2日		1		2	1		2		1		7(2)
6月	10日	1		4	5		2	4	2	4		22(14)
7月	9日			5	1			4		1	2	13(6)
8月	2日		1								1	2(1)
小計	23日	1	2	9	8	1	2	10	2	6	3	44(23)
合計		12			11			18			3	

※ ( ) 内数字はメス成獣の捕獲頭数（内数）

表3 エゾシカ視認頭数・出会回数※（時間帯別、延べ頭数）

月	日出 ～30分	～1時間	～2時間	～3時間	日中	日没前 3時間～	2時間～	1時間～	30分～ 日没
5月	10(1)		5(2)		2(2)	2(2)		45(3)	4(4)
6月			5(4)	1(1)	22(13)	9(4)	46(13)	4(3)	36(8)
7月			4(1)	3(3)	15(10)	2(2)	14(6)	1(1)	1(1)
8月					1(1)	2(1)			
合計	10	—	14	4	40	15	60	50	41

表4 月別出会・捕獲状況

月	出会 回数	捕獲 回数	捕獲 頭数	人日当たり 出会回数	人日当たり 捕獲頭数
5月	14	2	7	1.40	0.70
6月	47	11	22	1.02	0.48
7月	23	8	13	0.77	0.43
8月	2	2	2	0.20	0.20

表5 手法別捕獲頭数

捕獲 時期	忍び猟	待ち伏せ 式狙撃	岩峰から の狙撃	合計
5～6月	11	17	1	29
7～8月	14	1		15
合計	25	18	1	44

